

目標達成計画

事業所名 グループホーム 富川ヒカルホーム

作成日：平成 31年 3月 31日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に要する期間
1	1	【理念の共有と実践】 理念について、グループホームとして何を根幹にしているのか事業所の指針は何か。地域の皆様にもわかりやすい文言で作成したほうが良い。パンフレット記載の理念はケア理念として掲げた方がより詳しくわかりやすい。ホーム内に掲示する。	富川ヒカルホームとしての運営理念を 住み慣れた地域 共同生活 役割のキーワードを基に職員全員で検討。 パンフレット記載の3つの理念はケア理念として掲げる運営理念として貼り出し、職員全員で共有	職員各自、理念を考えミーティング時検討し決定する。朝の申し送り時やミーティング時に運営理念を唱和する。又、カンファレンス時など、理念に基づいた介護計画によるケアの実践が行われているか話し合い理念の再確認をする。	
2	4	【運営推進会議を活かした取り組み】 家族様が(ワンユニットに1家族以上)出席したほうが良い 会議録配布していない 出席者に知見者等がいた方が良い	・家族様にご出席して頂く ・会議録を必ず配布する ・地域活性化に詳しい方や、医療関係者(訪問診療)の方にもご出席して頂く	・ご家族様の来訪時、運営推進会議ご出席の依頼をする。	
3	6	【身体拘束をしないケアの実践】 身体拘束に関して明確な記録や話し合いが不足している	・サークルやセンサーマットに関しての明確な書類を整備し、ご家族様に必ず了承頂く ・上記に関しての定期的な見直しを行う。 ・虐待防止についての詳しい内容を職員全員が知識として得る。	・根拠に基づいたセンサーマット使用を介護計画に記載する。 ・担当者会議時、ご家族様に主にサークル使用に関しての説明を行い、了承頂き書類を整える。 ・定期ミーティング時にセンサーマット、サークルに関しての見直しを検討する。 ・3カ月に一度の介護計画者会議時の虐待防止委員会の内容を定期ミーティング時に報告し記録。前回の話し合った内容からの話し合いを行い更新部分を明確に記録する。 ・外部の研修に参加し知識を得勉強会を開く。	
	7	【虐待防止の徹底】 虐待防止委員会の定期開催の実施状況と詳しい記録が不足している。職員全員が虐待防止に関しての知識や対応を把握しているかの記録が不足している			
4	33	【重度化や終末期に向けた方針の共有と支援】 重度化に関してご家族様からの了承の書類が不足している	・看取りに関しての意向確認書 重度化に関しての確認書を揃える	・担当者会議時に看取りに関しての意向確認書 重度化に関しての確認書 ご家族様に了承頂く。 看取りに関する意向確認書に関しては毎回の担当者会議時、家族様の意向をお伺いし記入頂く。	
5	35	【災害対策】 災害対策は職員全員が把握しなければならない。地域との連携 協力体制は図れているか 自主訓練はどうか 地震時の居室棚にある物品に関しての対策 避難時の持ち物対策(内服薬、処方箋等) ハザードマップ	・職員全員が災害時マニュアルを把握 ・地域の皆様との災害時の連携を図る ・あらゆる災害に対しての避難訓練の実施 ・居室棚の物品の軽量化又はベッド位置の見直し ・持ち物、置き場所を職員全員把握	・外部の情報等を参考にするなどし、災害時マニュアルを見直し更新する。 ・運営推進会議時に地域の皆様と対策内容を検討、記録し連携の方法をマニュアルに取り入れる。 ・年に2回避難訓練を実施する(火災、地震、地震による火災等)消防署に相談、協力を得る。 ・内服薬の処方箋を複写して避難口に収納する。	

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

株式会社マルシェ研究所